

# 平成 29 年度第 2 回 新庄市総合教育会議会議録

開催月日	平成 30 年 3 月 26 日 (月)
開催場所	新庄市役所東庁舎会議室
出席者	市長、高野博教育長、山村明德委員、阿部浩悦委員、阿部仁美委員、齊藤浩昭委員
欠席者	なし
事務局	荒川正一教育次長兼教育総務課長、齊藤民義学校教育課長、荒澤精也社会教育課長 東海林主幹、佐藤教育総務主査、高橋施設整備主査、柴崎学事主査

## 議 事 の 大 要

午後 3 時 30 分より、市長のあいさつで、総合教育会議を開会する。

### 1. 開会

### 2. 市長あいさつ

### 3. 協議

(1) 新庄市立学校施設整備計画 (案) について

(市長) 新庄市立学校施設整備計画 (案) について説明をお願いします。

(教育次長兼教育総務課長) 新庄市立学校施設整備計画 (案) についてご意見をいただき、県の方に報告していきたいと考えています。認められないものだとすると、場合によっては外部委託して作り上げたいと考えております。

(市長) 明倫学区の後にどこに手を付けていくのか、新中学区ではないかということですが、候補地に高校再編による新庄南高校の学校用地も視野に入れるけれども、活褶曲があつて公共施設の建設地にふさわしいかどうかという問題があります。耐震化の技術は進んでいるので、断層の影響を考なくともいいのではないかとと思います。新庄北高が新庄南のところに来れば、新庄北高跡地を視野に入れることもあるかもしれません。建設の時は空いた土地を検討に入れるということでその時に決めていけばいいのかなと思います。日新学区は児童生徒数からも、まだ一貫校を建設するには早いのかなと思います。八向中学区についてはどうなのか。八向地区の委員としての考え方はどうですか。

(委員) 八向地区の住民として意見を述べると、地元で公的施設があつてほしいという意見を述べるご父兄が多いです。

(市長) 公民館については、地域の公民館として建築する方向で進んでいます。地元に残らず外に出ていく保護者が出てこないようにしなくてはいけないと思います。ここ 5 年ぐらいの間には八向地区でどうするか考えていく必要があります。

(教育長) 生まれてくる世代、の推移を見ていかないと、空き教室がでてきます。

(市長) どうやって減らさないか。まちづくり全体の中で例えば看護学校とか若者の受け皿をどうやって作っていくか、ここ数年の間に決まってくる。

(市長) 国際化も考えていかなければならない、現在 200 人の外国人が住民登録し、縫製業などに就いている。新庄北高校のあたりに新庄学区の集約した学校を建てることもあるかもしれない。人口が増えているのはほんの一部で、横浜市では子供が増えており学校を建てているが、将来人口減少し高齢者が増えたとき老人福祉施設として使うことを想定して建てているものがあります。

(委員) 15 ページで施設隣接型小中一貫校という考え方がでてきているが、施設を一体とした方が中一ギャップの問題の解決とか、9 年間で育てる考え方とかのためにもいいのではないのでしょうか。

(教育長) 一体型を堅持しても、新中、新小は校地面積が十分確保できない現状があります。新中の体育館が建設して間もないため、転用するにも補助金の取扱いが課題となる可能性があります。

(市長) 東山の体育館もあと 15 年内には解体の必要が出てくると思います。高齢者が増加することもあり、市体育館を町中に作ることも考えられ、新中跡地に市体育館を建設し、新中体育館をサブ体育館とすることや、新庄南高の体育館の利用も考えられ、施設の配置を検討していかなければなりません。また、県立新庄病院跡地の活用にも警察か消防を移す案もあります。

(委員) 新中、新小の保護者はお堀のそばでないとだめと考えている人もいます。八向中の保護者には新庄中と統合になるのか気につけ、スポ少の活動を一緒にしてはどうかと考えている父兄もいます。統合なるかは別にして、スポ少の活動を一緒にしてもいいのではないかと伝えたことがあります。私見ですが、小規模の小中一貫校という方向性はあると思いますが、大人数の中でのほうが子どもは育つと思います。ただ、今後の時間的な推移を見ながら判断していかなければならないと思います。

(市長) 郡部は中学校が 1 校となっている。統合については今後の課題でもあるし、どこの地域でも悩んでいること。以前は徒歩通学であったため考えられなかったが、今はスクールバスがあるので、考え方も変わってくる。ここでは答えを出せないが、今後の推移を見ていく必要があります。

(委員) 「なお～施設隣接型小中一貫校の検討を進めていきます」の部分が気になります。

(教育長) 南高の跡地を利用できるのであれば、この部分はなくてもいいのだが。

(市長) ここまで書かなくてもいいのではないか。省いて。

(市長) 新中のつり天井は問題なのか。作ったばかりだが。

(事務局) 新中の体育館は耐震で引っかかり建て替えしたが、その直後につり天井に関する基準が改正されたので問題となっています。高さと面積による基準があります。

(市長) 数年内に想像できない人口減少社会が来ているかもしれない。鮭川でも若者住宅を作って子供がいる世帯を優先的に抽選しているようですが、絶対的な人口は亡くなる人がいるので減っています。新庄でも 550 人が亡くなり生まれてくるのは 250 人、その差 300 人毎年減少しており、人口減少を受け入れていく必要があります。新庄は今までは若い人が入ってきて、昼間人口が多い地域。泉田小跡地北部側に 10 棟ぐらい若者住宅を立てられないか検討しており、萩野学園に誘導するという必要かと思っています。

計画については他に意見ありませんか。なければ先ほどの文面を一部削除するという事によろしいですか。

(「はい」という声)

よろしければこれで (1) については終了します。

(2) その他についてなにかありませんか。

(事務局) 事務局からはありません。

(市長) なければ協議はこれで閉じます。

#### 4. その他

(市長) 冷暖房機器は整備するとすれば、部屋ごとの個別の電気式でいいと考えている。大型の設備を整備すると管理が大変です。どこから入れるのか。考えてほしい。

(教育長) 今後の施設の改修を考えながら、どういった方法がいいのか検討する必要があると思っている。

(市長) 現場に合わせて考えなくてはいけない。

#### 5. 閉会

午後4時23分、閉会する。